

静岡市「お茶の日」は11月1日です

◆ なぜ11月1日なの? ◆



11月1日(旧暦:10月15日)は静岡市(葵区柅沢)出身の「静岡茶の祖」である聖一國師の生誕の日です。



新茶の時期だけでなく、一年を通してお茶に親しんで欲しいとの願いが込められています。



聖一國師肖像



東福寺の紅葉



静岡市の茶畑

聖一國師はこんなにすごい人!

1 みんなが飲んでいる静岡茶の祖

修行にいった宋(現在の中国)から持ち帰ったお茶の種を葵区足久保に播いたのが、静岡茶の始まりだと言われています。

2 京都 東福寺などを開山

紅葉の名所としても有名な東福寺(京都府)や博多祇園山笠発祥の地・承天寺(福岡県)の開山など、仏教の普及、復興に尽力されました。

3 中国の進んだ文化を日本に広めた

宋より帰朝の際、千巻に及ぶ巻物を持ち帰り、当時の中国の進んだ文化(水車・製粉機、そば・うどん、まんじゅう、人形など)を日本に伝えました。

「お茶のまち」静岡市

1 全国有数の茶産地

静岡市には「静岡本山茶」「清水のお茶」があり、歴史が古く多くの茶畑やさまざまなお茶がある全国有数の茶どころです。

2 お茶の集散地

静岡市は全国からお茶が集まるまち、茶商さんが多いまちでもあります。

3 お茶の条例のあるまち

「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」が制定され、魅力ある「お茶のまち」を目指していきます。



静岡市「お茶の日」が決まるまで

- 平成21年4月 静岡市めざせ茶どころ日本一条例施行
※条例9条に「お茶の日」を規定
- 6月 第1回静岡市茶どころ日本一委員会
- 6月～7月 「お茶の日」一般意見を募集
- 8月 関係団体より意見を聴取
- 9月 第2回静岡市茶どころ日本一委員会

平成22年3月 静岡市「お茶の日」制定!



「お茶の日」には…

○お茶でホッとひと息

お茶は、人をホッとさせます。お茶の日には、家族や友人とお茶を飲んでホッとした時間を楽しみましょう。

○お茶のまち静岡市を楽しもう

静岡市はお茶の産地であり、集散地(お茶問屋さん、お茶屋さんの多い街)です。いろいろなお茶の楽しみを見つけ、お茶のまちを楽しんでください。

静岡市内にも
いっぱいある

しょう いち こく し 聖一國師ゆかりの地マップ

① 聖一國師 生誕の地 (葵区柘沢)

聖一國師は静岡市大川地区の「柘沢」というところに生まれました。大川と京都の東福寺は、今でも交流が盛んで、お互いに茶、紅葉の植樹も行っていきます。



生家の庭のしだれ桜は見事で、見頃の4月第1日曜日には、大川地区お茶まつりが開かれています。



④ ティーロード (静岡市のお茶の道)

聖一國師の生誕の地・柘沢と、中国から持ち帰ったお茶の種を播いたとされる静岡茶発祥の地・足久保をつなぐ古道。

現在は周辺の山をつなぐ登山道(突先山ハイキングコースの一部)にもなっています。



⑤ 聖一國師堂 (清水区馬走)

南幹線の道路沿いにあり、東急電鉄会長、静岡鉄道社長の発案により建立されました。

朱塗りの堂内には杉本宗一氏作の聖一國師像が安置されています。國師堂は顕彰碑のような位置づけですが、静岡鉄道・聖一國師静岡顕彰会により、毎年春秋の2回法要が行われています。



② 藤野 回春院 (葵区藤野)

藤野は聖一國師の父五郎親常の実家仲野氏の家があったと伝えられています。

回春院縁起(平子忠欽編)によれば、仲野氏宅で病にふせていた母の平癒祈願を行ったところへ薬師如来が現れ温泉の出るところを教えられた。このお告げにしたがって見つかったのが藤野温泉であり、このため母親の病気もたちまち治ったことから、自ら薬師如来を彫り一堂を建て祀ったのが回春院(医王山)であるといわれています。



⑥ 鉄舟寺 (清水区村松)

もとは久能山中にあり久能寺と呼ばれ、建徳寺(葵区)と並び駿河の二大寺でした。しかし、武田信玄が寺域である久能山に築城することとしたため、現在の地に移転しました。

聖一國師は5歳から12年間、同寺義弁老師の元に預けられました。宋より帰国した聖一國師は、宋より持ち帰った面等を奉納したと言われています。

しかし、明治の廃仏毀釈により廃寺となり寺宝の多くも散逸してしまい、これを惜しんだ山岡鉄舟の尽力により明治16年、鉄舟寺として再興されました。



③ 臨濟寺 (葵区大岩町)

臨濟宗の修行道場ということで寺域の大半が非公開となっていますが、その一角に茶祖堂と呼ばれる堂が建っています。堂の中には日本国内におけるお茶の発展に寄与した栄西禪師、大応國師とともに聖一國師の彫像が安置されており、毎年茶業関係者が新茶時期に献茶式を行っています。

